

Side Effects 2022 — 2024 IEIE, Reflected: Phase 3

symposium

No Wo/Man Is an Island: From Knavelskär to Kamomejima (1974-2024)

シンポジウム

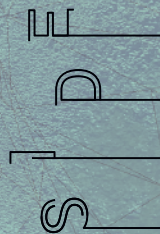
なんぴとも孤島にあらず：
クナーヴェルシエアから鷗島へ (1974-2024)

2023.11.27 Mon 18:15 ~ 20:30

札幌市図書・情報館1階サロン (札幌市民交流プラザ内)

参加無料・事前予約制・先着50名

言語：日英 (逐次通訳)



IEIE, Reflected:Phase 3

symposium

No Wo/Man Is an Island: From Knavelskär to Kamomejima (1974-2024)

シンポジウム

なんぴとも孤島にあらず：クナーヴェルシエアから鷗島へ (1974-2024)

2023.11.27 Mon 18:15 ~ 20:30

札幌市図書・情報館1階サロン (札幌市民交流プラザ内)

参加無料・事前予約制・先着50名

言語：日英 (逐次通訳)

《Island Eye Island Ear》(略称：IEIE) は、1974年にデーヴィッド・チュードア、中谷芙二子、ジャクリン・マティス・モニエらがE.A.T.のサポートのもとで構想し、長期にわたって取り組んだものの実現には至らなかった、孤島を丸ごと楽器化するという壮大なスケールのコンサート計画です。2022年よりSIAFラボは中井悠と明貫紘子とともに、北海道におけるこの幻の作品の実演に向けて取り組んできました。

2023年11月に実施する江差町・鷗島におけるテストラン (予行演習)、札幌国際芸術祭2024におけるその記録映像をもとにしたVR作品の公開、構想からちょうど50年目にあたる2024年にロフォテン国際芸術祭2024 (ノルウェー) にて初演を予定していることを踏まえ、ロフォテン国際芸術祭のディレクターやキュレーターを札幌に招待し、《IEIE》の過去と現在と未来をめぐる国際シンポジウムを開催します。

登壇者：

マリアンヌ・ハルトマン (ロフォテン国際芸術祭ディレクター)
シャスティ・ソルバックン (ロフォテン国際芸術祭2024キュレーター)
中井悠 (S.I.D.E. アーティスティック・リサーチャー)
明貫紘子 (S.I.D.E. キュラトリアル・リサーチャー)
小町谷圭、石田勝也、船戸大輔、平川紀道 (SIAFラボ)
朴炫貞 (北海道大学 CoSTEP)

通訳：田村かのこ (アートランスレーター/Art Translators Collective 代表)

申込フォーム：



企画：S.I.D.E. (SIAFラボ/北海道大学 CoSTEP)

主催：札幌国際芸術祭実行委員会、札幌市、北海道大学 CoSTEP、札幌市図書・情報館

協力：札幌文化芸術交流センター SCARTS (札幌市芸術文化財団)

助成：令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業、公益財団法人ポーラ美術振興財団

お問い合わせ：札幌国際芸術祭実行委員会事務局

札幌市中央区北1条西2丁目 札幌時計台ビル10階 TEL 011-211-2314 Email siaflab@siaf.jp